

体育科（保健）学習指導案

坂町立小屋浦小学校

指導者 教 諭 仲井 早人（T1）
養護教諭 谷水 純子（T2）

- 1 日 時 平成22年7月16日（金）2校時
- 2 場 所 第5学年教室
- 3 学 年 第5学年（男子4名 女子10名 計14名）
- 4 単 元 名 けがの防止
- 5 単元について

- 児童は日常生活の中で様々なけがの体験をしており、その防止策や対処法に関しては、経験的に身に付けていると言える。けがを防止するためには、その原因に対する正しい理解と、日常の環境から危険を取り除き、安全に心掛けて行動しようとする態度が必要である。また、危険な状態になったときの回避方法や、けがをしたときの応急処置などを併せて学ぶことは効果的である。したがって、この単元では、身近に起こっている事故やけがの実態や体験を素材にして、事故やけがの原因と、その防止の原理・原則を科学的に理解させるとともに、未然に防止するための判断力を育てることをねらいとしている。
- 本学級の児童は、明るく活発な児童が多い。その反面、依存的な児童も多く、自分の身に何か起きたとき、自分で気づき、考え、実行することが苦手である。また、些細なけがで保健室を訪れる児童も多い。
- 指導に当たっては、けがや事故の典型的な事例から、危険を見つけ出す演習を取り入れたい。その中で、児童が「なぜ、けがや事故が起こったのか。」を考え、その原因を多面的に分析し理解を深めさせたい。
けがの手当では対処方法の知識を学び、実際に遭遇したときの対処をシミュレーションすることで、児童の日常生活に生かしていきたい。

6 単元の目標

- ・ 学校生活におけるけがの現状とその原因を知り、安全な行動や環境づくりに心がけ、自らけがのない安全な生活習慣を身に付けようとする。
- ・ いつ、どこで、どんなときに、何をしていた、どんなけがが起るのかシミュレーションをしながら、その防止策を考えることができる。
- ・ けがの原因には、人の行動と環境という二つの原因があることを理解し、危険を予知したり、回避したりする視点をもつことができる。
- ・ けが人が出たときの対処はどのようにしたら良いかを知り、自分や他人のけがの手当が適切にできる。

7 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当について関心をもち、進んで課題を見つけようとしたり、意欲的に課題解決に取り組んだりしようとしている。	身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当について課題を設定し、解決の方法を考えたり、判断したりできる。	身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当について、課題解決を通して実践的に理解し、自分の生活に役立つ知識を身に付けている。

8 学習活動と評価の計画

◎；該当する観点 ○；関連する観点

時間	学習活動	評価規準と評価方法	評価の観点		
			関	思	知
第1時	<p>けがや事故が起こるのはなぜ？</p> <p>1 けがの経験について話し合う。</p> <p>2 小学生のけがや事故の現状を資料などから知る。</p> <p>3 学校での事故と交通事故の原因について事例を通して考える。</p> <p>4 けがや事故の起こり方についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に体験談を発表している。(発表) 小学生のけがや事故の現状を理解する。(発表) 人の行動、環境、心の状態、体の調子の観点から考えている。(発表) けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こることを理解している。(ワークシート) 	◎	○	◎
第2時	<p>学校や地域社会でのけがを防ごう。</p> <p>1 教科書の図から隠れた危険を探す。</p> <p>2 予想される事故とその原因を考える。</p> <p>3 安全のために学校や地域社会で努力していることを考える。</p> <p>4 けがを防止するために自分たちでできることを決める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 隠れた危険を2個以上探している。(ワークシート) それぞれの場面について具体的に説明できる。(発表) 場面ごとに危険を避ける方法を発表している。(発表) 学校や地域社会で行っている安全のための工夫や努力を理解している。(発表) 具体的で実現可能なめあてを決めている。(発表) 	○	◎	○
第3時	<p>交通事故を防ごう。</p> <p>1 教科書の図から隠れた危険を探す。</p> <p>2 予想される事故とその原因を考える。</p> <p>3 自転車の特性について確認する。</p> <p>4 交通事故を防ぐための工夫について考える。</p> <p>5 交通事故の防止についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 隠れた危険を2個以上探している。(ワークシート) それぞれの場面について具体的に説明できる。(発表) 内輪差、死角、停止距離について理解している。(発表) 自分が住んでいる地域での工夫や努力を挙げている。(ワークシート) 安全な行動をとること、環境を安全に整えることを押さえている。(ワークシート) 	○	◎	◎

データの活用

体の知識・
手当の仕方

第4時 (本時)	けがの手当できるかな？			
	1 小屋浦小学校で多いけがの種類は何か考える。	・ 自分がけがをしたときの経験から考えさせる。(発表)	◎	
	2 班ごとにけがをしたときにできる手当の仕方を考え発表する。	・ 周囲の様子やけがの種類・程度などの要点を押さえている。(ワークシート) ・ 積極的に発表している。(発表)		◎ ○
	3 正しい応急処置を養護教諭から聞く。	・ 真剣に聞いている。	◎	
	4 応急処置を全員でやってみる。	・ 正しい手当を行っている。(児童観察)		◎
	5 救急時の通報・救助の求め方について考える。	・ 的確な状況判断の下に通報が必要であることを理解している。(児童観察) (ワークシート)	○ ◎	
6 けがの手当についてまとめと振り返りをする。		○		

9 本時の目標

いろいろなけがの状態を見て、簡単なけがの手当ができる。

観点別評価規準

ア関心・意欲・態度	イ思考・判断	ウ知識・理解
けがの手当について関心を持ち、意欲的に課題解決に取り組もうとしている。	けがの起こった状況から適切な手当や判断をしようとしている。	児童ができる範囲のけがの手当を実践を通して理解し、自分の生活に役立つ知識を身に付けている。

10 準備物

すり傷・きり傷・捻挫・打撲・鼻血の図，ワークシート，ペットボトルに入った水，ハンカチ

1 1 学習展開

過程	学習活動・主な発問	指導上の留意点	評価方法
導入	<p>1 校内で多いけがの種類は何か考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 打撲, すり傷, きり傷 <p>2 本時の課題を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の経験から考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">けがの手当 できるかな？</div>			
展開	<p>3 グループに分かれ, けがの手当の仕方を考え発表する。</p> <p>○ こんなけがが発生しました。みんなならどうしますか？グループごとに話し合い, ワークシートに記入しましょう。(すり傷・きり傷・捻挫, 打撲・鼻血)</p> <p>4 正しい処置方法を知る。</p> <p>○ 養護教諭から正しい手当の仕方を聞きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ すり傷 ・ きり傷 ・ 捻挫, 打撲 ・ 鼻血 <p>5 応急手当を全員でやってみる。</p> <p>○ 二人一組でけがの種類ごとに手当を試みましょう。</p> <p>6 大きなけが人が出た時の対処の仕方について考える。</p> <p>○ 大きなけがをした人を見たら, どうしたらいいでしょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ けがの種類別の絵を黒板に貼り, それぞれの手当について考えさせる。 ・ なぜその手当をしたか理由も加えて, 班ごとに発表させる。 ・ けが人が出たときは, 周囲の様子や, けがの種類, 程度などの状況を, 落ち着いて手早く観察が大切であることを助言する。心理面のケアとして, 声かけも大切であることも押さえる。 ・ 手当の方法が適切であるか確認する。 ・ 状況によって近くにいた大人に知らせることも大切であることを助言する。すぐに医師にみてもらう必要がある場合もあることも押さえる。 ・ けがの様子をよく観察し, 体を動かせるか 	<ul style="list-style-type: none"> ・ グループ内討議 ・ ワークシート ・ 児童観察(周囲の様子やけがの種類・程度などの要点を押さえているか。) ・ 児童観察(正しい手当を行っているか。) ・ 児童観察(的確な状況判断の下に通報が必要であることを理解しているか。)

<p>整理</p>	<p>7 まとめをする。 ○ 自分たちでできるけがの手当が分かりましたか。今日の授業の感想をワークシートに書きましよう。</p>	<p>確認することが大切であることを助言する。 ・ 今日学習したことを日常生活に生かすよう助言する。</p>	<p>・ ワークシート（日常生活に生かそうとしているか。）</p>
-----------	--	--	-----------------------------------